

# 岐大通2014

2014 J.League Division 2

F C 岐阜大好き通信 (岐大通)

5/6号

## 第12節 ジェフ千葉 戦

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：

ささたく&吉田鑄造

5/6 19:00 @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

today's guest : ジェフ千葉 2013 J2 18勝12分12敗 勝ち点66:第5位

1965年の第1回・日本サッカーリーグ(JSL)に参戦(3位、優勝は東洋工業=現:サンフレッチェ広島)した古豪。以後、2009年にJ1で最下位となるまで45年もの間トップリーグでのプレーを続けた。JSL時代にリーグ優勝2回、天皇杯優勝3回、JSLカップ優勝3回。1986-87シーズンではアジアクラブ選手権を制し、日本で初めて『アジア1』となる。Jリーグ加盟後もナビスコカップ優勝2回。J1で最下位となった2009年は天皇杯でF C 岐阜と対戦、岐阜が1-0で勝利(F C 岐阜が公式戦で初めてJ1勢に勝った)。2010年からJ2。(吉田鑄造)

4/29 ホーム戦では群馬を倒して連敗(ホーム戦3連敗)をストップした後、5/3には“最後の国立”東京V戦では記念すべきゲームに勝利したFC岐阜。2試合ともスコアは1-0と、見方によっては低調な結果だったが、一説では“最も美しい勝利”とも呼ばれるスコアでの勝利、特に守備陣には大きな手応えを感じることができる連勝となっただろう。この連勝で順位は一気に17位から9位にジャンプアップ。勝ち点3差には5位が見えているため、今節の結果によってはプレーオフ圏内も狙える位置に再び戻ってくることができた。しかし一方で下を見れば、わずか勝ち点1差の勝ち点15に11位~16位の6チームがひしめき合っている激しい混戦状況だ。油断することなく、1試合毎にしっかり戦うことが求められる。

さて、GW4連戦の最後の対戦相手はジェフユナイテッド千葉。2009年にJ2に降格以来、常に上位争いを繰り広げている名門チームだ。今年も優勝(昇格)争い候補に挙げられながら、現在は15位と低迷している。しかし先ほど述べた通り勝ち点15、岐阜とわずか勝ち点差1にいただけで、その実力は決して侮れない。前々節までは4戦未勝利(とはいえ2分2敗)で勝ち点をなかなか積み上げられなかったが、前節の群馬戦では後半2点のビハインドをひっくり返し逆転勝利を収めてチームにも勢いが出ている。通算対戦成績は2勝2分4敗、ホーム戦では1勝1分2敗だが、古くからの岐阜サポには、2009年の第89回天皇杯4回戦、11/15に熊谷で当時J1チームだった千葉に勝利した試合を覚えておられる方も多いだろう。実力のある選手が揃っているが、最も注意すべき選手は、やはり昨季22ゴールを挙げてJ2得点王に輝いた#9FWケンベスだろう。今季はまだ3ゴールだが、前節逆転ゴールを決めて気分が乗ってきている。また#8MF谷澤も3ゴールを挙げて好調だ。

今節の岐阜は、#11三都主が累積警告で出場停止となり、また4/26松本戦でCB#35木谷が負傷(全治2~3週間と発表された)し、前節にはCB#5関田が負傷交代しており、残念ながら守備陣にはスタメンの変更が迫られる。#33阿部の相方には(前節で今季初出場を果たした)#34中村英之あるいは#15ヘニキが有力視される。SBも#17野垣内を左右どちらで使うのかによって組み合わせが色々と考えられる。ラモス監督の選手起用に、そしてその起用に応えた選手たちが、千葉の攻撃を跳ね返す活躍に是非とも期待したい。一方の攻撃陣も、連勝を挙げているものの(ラモス監督の辛口コメントを見ても分かる通り)、若干の連携ミスやフィニッシュの精度不足が散見される。ここを短期間でどこまで修正できるか、その点にも注目したい。そしてベテランCB#5山口智を柱とする千葉の守備網を破り、何度もネットを揺らすシーンを見たいものだ。また、かつて千葉に在籍した#27太田圭輔(09~11年に在籍)、#19益山司(08~11年に在籍)は、古巣相手に普段以上に燃えているはずだ。前節からわずか中2日。GW4連戦の最後ということで、負傷者も多くなり選手層の厚さが試される状況になっているし、選手の疲労もピークに達しているはずだ。逆に考えれば、その最後の(体力的には)本当に苦しい状況での試合を(精神的には楽になれる)連勝で、そしてホーム戦で迎えることが出来るのは、非常に幸運とも言える。GWでの2連勝は大きな結果だが、3連勝すれば非常に大きい成果となる。3連勝を目指して、ホームスタジアムの圧倒的な雰囲気のみならず、みんなで作りだそう。一人一人の拍手や声援で、選手の身体に活力を与えよう。厳しい対戦相手だが、最後まで諦めず勝利を信じて応援して、そして3連勝を挙げて、みんなで“いいGWだったね”と笑いあえるようにしようじゃないか。(ささたく)

### 2014J2

#### ■順位表■第11節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	湘南	33p	+28	32	4	H●
2	磐田	23p	+11	22	11	
3	松本	20p	+6	19	13	A●
4	栃木	20p	+6	14	8	H●
5	長崎	19p	+7	18	11	
6	北九州	19p	+1	14	13	
7	大分	18p	-1	11	12	
8	京都	17p	+5	17	12	
9	岐阜	16p	+1	14	13	---
10	熊本	16p	0	12	12	
11	山形	15p	+1	12	11	A●
12	水戸	15p	+1	8	7	
13	札幌	15p	0	9	9	
14	岡山	15p	-1	8	9	
15	福岡	15p	-2	15	17	H●
16	千葉	15p	-5	13	18	
17	横浜FC	12p	-3	10	13	AO
18	愛媛	10p	-2	9	11	AΔ
19	群馬	9p	-8	8	16	HO
20	東京V	6p	-8	8	16	AO
21	富山	5p	-17	6	23	HO
22	讃岐	2p	-20	7	27	HO

### 次回HomeGame

第15節 ギラヴァンツ北九州戦

5/25(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

### 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

### ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は

JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜(定休日が変わりました!)

### 投稿募集!!

gidaidohri@hotmail.co.jp

## 【第10節】岐阜 1-0 群馬

●今日は「FW受難の日」だったのかな？難波がPK獲得して、きっちり決めてくれたのだから「純輝とナザリトには受難の日」というべきか（苦笑）合わせて4本のシュートの内1本でも決まっていたら、そこで試合の趨勢は決していたから終了間際の苦闘はなかったかもしれない。それにしても、初めての交代出場だったのに、スルーパスが鮮やかに通ったとはいえ決定機を2回も演出するウチの9番は素晴らしいな。逆に、純輝は2試合連続スタメンというチャンスをもたらしているのだから、2本の内どちらかは決めてほしかった。特に後半のチャンスは完全にフリーでゴール枠内のどこを狙っても決まりそうな感じだったのにね。ホントにもったいない。多少のことは目をつぶってでも使い続けることで多くの経験を積み、レベルが上がっていく選手もいるということを経験上よく知っているつもりだけど、FWというポジションはライバルが多いのに「チャンスは2度やる」という監督の言葉からすると次節以降の起用は厳しいかな？と思っていたら、試合後のコメントでは相変わらず純輝の評価が高く、さらに「ナザリトは難波や純輝を見て勉強してほしい」というコメントには驚いた。ここまでの3勝の原動力になっているナザリトに対してのこの言葉から、監督は信じられないくらいシビアに、フラットな視線で選手を見ているんだなと思い知らされた。まだまだ進化の余地があるんですね>ナザリト。いったい、どんな選手になっちゃうんでしょうか？それに「純輝は一点決めたら化ける」という思いは確かにあって、一試合でも早くそれを見たいんだけど智大のゴールも見たい気持ちも当然あるワケで、みんなが高い意識で競争してくれればいいな。試合全体を振り返ってみると、キックオフ直後はあわや失点！という場面もあったように最終ライン全体が川口も含めて落ち着きがないように見えたとし、終了間際は防戦一方で、いつ同点にされてもおかしくない状況。前節の松本戦より決定機はあったけど、内容的にはよくなかった。それは前述のFW陣の印象から来ているのかもしれない。そんな中で守備陣の頑張りは特筆もの。中でも、両CBは今季初めてスタメンからコンビを組んだのだけど実に安定していたと思うし、前節に引き続いてヘニキは中盤の底で効いていた。もちろん、相手が攻撃の大看板・平繁をケガで欠いて4連敗中、しかも連戦に備えてのターンオーバーでブラジル人FWを温存していた群馬だったから、という見方も否めない。それでも、完封という結果は彼らにとっても自信につながると思うし、どんどん経験を積んでいってもらいたい。攻撃陣だけでなく守備陣でも高いレベルでの競争ができれば、順位はおのずとあがっていくはず。そして、次節はいよいよ国立。ぜひとも、凱歌を上げて歴史を残そう！

（ぐん、）

●岐阜はナザリトを休ませ、群馬はエース・平繁をケガで欠くという、どちらも『火力』に乏しい試合だったけど、難波のPKを守りきった勝利……という感じはしなかった。“守りきった”というわけじゃないから。この試合はとにかく「ヘニキのゲーム」に尽きる。ダイヤモンド気味の中盤でアンカーのポジションだったのだけど、あの位置であれだけ敵の攻撃をつぶしてくれたら守備陣はかなり助かる。試合終了近くにはずいぶんと攻め込まれたけど、それでも「負ける」という感じはしなかった。ラックで入っても1点まで、つまりドロウの勝ち点は取れる、と。セッキー、阿部ちゃんのCBコンビにヘニ兄のアンカーはホントに安心して観ていられた。

開幕2試合では「夏の移籍ウィンドーでいかにナザリトを守るか」という感じだったけど、「いかにヘニキを守るか」も重要な要素になったかな。

（吉田鑄造）

●2連敗そして負けが先行してきたので、今日は勝たないと気分的に苦しくなってくるな…と思っていたので、スタメンを見て少しビックリした。前節のスタメンから、まあ#35木谷は怪我だろうから予想してたけど、#11三都主も#8宮沢も#9ナザリトもいない…え、これって“ターンオーバー（大幅スタメン入れ替え）”ですか？ここ何年かは残留争いで目の前の一戦にいっぱい×2だった（苦笑）僕らのチームが、こんな芸当をするとは（笑）。…で、守備的ボランチ#15ヘニキとの相性を考えて、攻撃的な#28泰輔に交替したってのはすぐ分かり、更に考えてみたら#9ナザリトと#11三都主は警告3回（つまり今日警告を受けると次節の東京V戦に出場できない）…。なるほど、攻撃に変化をつけるためと雨が降ってるからDFラインの裏を狙うFW2人にして、厳しいGW4連戦を乗り切るために疲れてる選手を休ませ、そして（ラモス監督も絶対に気合いが入っているはずの）“国立”をベストメンバーで備える…納得の選手起用でした。

で、この選手起用が（相手が群馬だったということもあるんだろうけど）守備面ではピタリと当たる。#5関田は今季初スタメンだったけど、しっかりと仕事をしてくれた。一昨年はルーキーながらレギュラーの地位を獲得したものの昨年はその座を奪われ、今年もルーキー#33阿部の活躍に2年前の自分を重ねて心に期するものがあっただろう。頼もしい選手が帰ってきてくれた。あと、#15ヘニキは本職がCBだって話だけど、やっぱボランチとして中盤で激しくボールを追う方が輝いてる気がするね、うん。こういう働きが出来る選手がいると、守備も安定するしパスカットからのカウンターも効く。スタメン定着を狙えるかも？

ただ攻撃陣は、ちょっとまだ連携不足かな？そんな中でも、何度も良い攻撃の形を作り出すと、難波がゴール前で倒されてPKを獲得、しっかり決めてくれた。#30純輝にも前後半それぞれ1本ずつ、良いヘッドがあったんだけどなあ…あれを決めるか決めないか、それでFWの評価は変わってしまう。次こそは決めてくれ！

後半になると、群馬も（主力選手を温存してたのかな？）#9ダニエル・ロビーニョなどを投入し、岐阜も選手を交代して両チームとも更に攻撃的になったので、あと少しで…っていう惜しいシーンも（ナザリトも2本、決めて欲しかった場面が！）あった一方、肝を冷やす場面も何度か。終盤は我慢の守備の時間だったなあ…。それでも、#22GK能活の好セーブも光って無失点、2試合振りに勝利、ホーム戦の連敗も3で終わらせることが出来た。折角の勝ち試合で3,870人しか万歳四唱できなかったのは少し寂しいけれど、朝から雨だったし、地上波で生中継（録画中継の方がクラブ的には良いのかも？）もあったし、去年は晴れててもこの観客数を超えなかった試合があることを考えたら…（苦笑）。

ともあれ、PK1本のゴールだろうと勝ちが勝ち。結果が欲しい試合でしっかり勝つことができた。新たな選手の活躍で、スタメン争いも激化しそうで楽しみな雰囲気だ。次節は“国立”、ここで連勝してチームも勢いに乗ってほしいよね。そうそう、就任したばかりの恩田社長が、雨の中をポンチョ姿で観客をお出迎え&お見送り、試合前には（時間がなかったのかな？）スタジアムを回ってトラメガで挨拶もされていた。クラブ運営の方も、是非勢いに乗せて欲しいものです。

（ささたく）

## 【第11節】東京V0-1 岐阜

●現在の国立競技場が使用できる最後の年、そんな中でFC岐阜の試合が行われるという幸運にも恵まれたので、東京まで足を運んできた。

試合は前半30分くらいまでお互いに様子見のような感じで、そこを過ぎたらヴェルディが平本にロングボールを当ててくるといった戦術にシフトしてきた。裏を取られる危険なシーンもあったが、CBでスタメンに入った関田が身体を張ってピンチを防いでくれた。先日の松本戦からゲームに出場するようになった関田だが、今日の試合の出来なら安心してCBを任せられると思う。負傷交替してしまったので、怪我の具合が気になるところではあるが。

太田圭輔がGKを交わして上げたクロスを難波がヘッドで合わせたわけだが、あのシーン、ヴェルディのGK佐藤優也はなんであんなポジショニングを取っていたのか不思議である。あと試合全体を通してヘニキの守備への貢献は高かったと思う。ボールのあるところにことごとく顔を出していた印象。もしかしたら、他所に取られて困るのはナザリトよりもヘニキのほうがなのかもしれない。

GWの過密日程もいよいよ大詰め、相手は千葉、決して分の悪い相手ではない。疲労や怪我人などで決して万全の態勢とはいえないが、ホーム長良川で3連勝してGWを締め括ろう。(岐阜の誇り)

●“J2最後の国立”、そこで“Jリーグ最初の国立”を戦った東京Vとの対戦。両者ともチームカラーが緑、そして当時はヴェルディで10番を背負っていたラモス瑠偉監督。“最初”と“最後”のピッチに、「緑の血が流れている」と称するラモス監督が立つのは、運命のなせる業か日程君の粋な計らいか、はたまたJリーグの戦略か(苦笑)。ともあれ、そこに僕らFC岐阜が立てるという幸せには変わりない。それを思っ、アウェイにも関わらず、いや国立に“アウェイ”は関係ないかもしれないけど(苦笑)、多くのサポーターが集まった。聞くと、GW連休中ということもあり、東京岐阜県人会やJトラスト、岐阜車体工業関係者などの団体観戦も多く、1000人を超えて(もっといたかな?)岐阜側スタンドが埋まったとのこと。本当に感謝です。

こんなメモリアルマッチ、何が何でも絶対に勝ちたい。これまで11回対戦して僅か1勝しかできていない相手だけど、今年の東京Vの低迷からすれば快勝できるかも…という期待は、やっぱりしちゃいけなかった(苦笑)。やっぱユース出身の若手選手主体とはいえ、“名門”ヴェルディ、(あまり認めたくないが)上手い。何度もハラハラドキドキさせられたが、その度に岐阜は粘りの守備を見せてゴールを割らせない。負傷交替しちゃったけど#5関田と、#33阿部のCBコンビに何度も救われたし、今日の#22能活は、国立には大きな思い出もあっただろう、素晴らしい活躍だったと思う。一方の攻撃陣は、ちょっと焦りというかパスをカットされてカウンターを喰らうシーンが何度もあったのが気になったかな?しっかりと修正して欲しい。でも、#24難波の泥臭い(注:誉め言葉です)ゴールを守りきっての連勝。一昨年、初めてFC岐阜が国立で戦った試合では1-4で惨敗した東京Vにリベンジできて、気持ちよく、“最後の国立”を後にすることが出来た。寂しいけれど、7月には取り壊しが始まり、新しい国立競技場が完成するのは2020年。その時には、僕らFC岐阜はどんな活躍をしているのだろうか。再び、国立のスタンドに立つ日が楽しみだ。(ささたく)

●ありがとう!国立霞ヶ丘競技場。そして、クラブの「国立&東京都内初勝利」おめでとう!!

今まで幾多の名勝負が演じられてきたこのスタジアムで勝ち名乗りを挙げたチームはたくさんあるけど、うちもその中によりやく加わることができた。ギリギリ間に合ったというところか。しかも、相手がJリーグ元年の開幕試合を戦った東

京V(当時はV川崎)ということも感慨深い。相性が良くなく、勝ったのは長良川での1勝のみという相手にこの檜舞台で勝ち切ったこと。そして、国立霞ヶ丘で1回、国立西が丘で1回、あとは味スタ、野津田とJFL時代の横河武蔵野戦を含め一度も勝ったことのなかった都内でのようやく勝てたことも僕自身にとっては感慨深い一日となった。

灯された聖火。来場記念のハンカチ。国旗掲揚ポールにはためくクラブ旗。そして、ホーム側に負けにくいくらい集まった岐阜サポ。試合後の笑顔。何もかもが誇らしい。国立でのJ2ラスト・ゲームという歴史に残る試合での歓喜はきっと忘れないだろう。不遜を承知で言ってしまうと「今日という日は、ボクら岐阜サポのためにあった。」ということかな?

まあ、試合内容については忘れることにする。試合後の監督のコメントがすべて。かつての栄光がかすれてしまった相手が現在の順位通りのサッカーをして、決定機もさほど与えたわけではないが、それにナゼかおつきあいをしてしまった。そんな印象。それでも、今は結果を出してくれたこと。守り切ってくれたことを称えたい。本当に勝ててよかった。(ぐん)

●1993年のJリーグ開幕。あの満員の『最初の国立Jリーグ』でファースト・ゴールを決めたのはヴェルディのマイヤー。それから21年、日本はワールドカップに4回も出場し、Jリーグは3部制になり、ヴェルディは2部にいる。時代は動いた。そして、ついにサヨナラ国立競技場。試合後にラモス監督が相当ご立腹だったように、正直言うと「ドラマ」に相応しい内容の試合だったとは思えない(苦笑)けれど、そんな舞台で戦えたFC岐阜は「国立競技場で勝った」いくつものチームの末席に座ることが出来た。間に合っってよかった。

『最後の国立Jリーグ』は、今日5/6のJ1・甲府vs浦和。この試合がスコアレスドローだと、「国立でのサッカー公式戦で最後にゴールゲットした選手はFC岐阜の難波宏明」ということになるのだが、さて。(吉田 Casting)

## 【ユース】クラブユース選手権、東海地区1次リーグ突破!

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は4/27に日本クラブユースサッカー選手権の東海地区1次リーグの2試合目の試合が有りました。対戦相手は愛知県の尾張クラブ。愛知県の高校世代のリーグ戦では西尾張地区リーグに所属しているチームです。この試合も観戦出来ませんでした。しかし勝ちきり6対0での完封勝利!前試合に続いて0点に押える事が出来たのが何よりだったと思います。この結果1次リーグ突破を決めてくれました(ばんざい)。次はこれまた1次リーグ2戦2勝の愛知FCとの対戦があり、引分け以上で1位突破となります。全国大会への切符を勝ち取る上で1次リーグの1位突破と2位突破ではレギュレーション上は有利不利はあまり有りませんが、ここはきっちり勝利を収めて全勝で決勝トーナメントに進みたいですね。試合は5/11(日)の12時半KO、試合会場は名古屋市の港サッカー場です。この日はトップチームはアウェー水戸戦なので、良ければ観戦しに行っってやって下さい。

一方の県内リーグのG1リーグについて。今日大垣工業との試合があった筈ですが、結果はどうだったでしょうか?吉報が届いていると良いな~。そしてG1リーグの次の試合は5/10(土)の東濃実業戦となります。KOは10時、試合会場は関市のグリーンフィールド中池です。こちらの観戦も良ければどうぞ。頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!※試合会場・時間は変更の可能性があります。必ず東海クラブユースサッカー連盟や岐阜県サッカー協会の公式サイトでご確認下さい。(シュナ)

